

事業名：環境衛生対策促進事業

市民生活課 生活衛生係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実							
施策	01 安全な暮らしの確保							
基本事業	04 快適で安らげる生活環境の充実							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内全域	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・犬の飼い主に対し、畜犬登録及び狂犬病予防注射等の適正飼育の啓発を行う。 ・野犬掃とうを実施する。 ・空き地の所有者に雑草等の除去について適正管理の指導を行う。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
住みやすく安全で快適な住環境の保全が図れるようになる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市内全域面積	Km ²	187.57	187.57	187.57	187.57
対象指標2						
活動指標1	市内巡回指導件数	件	104	71	51	120
活動指標2						
成果指標1	苦情件数	件	116	111	74	120
成果指標2						
事業費(A)		千円	6,015	5,939	5,834	6,090
正職員人件費(B)		千円	4,414	4,008	3,907	3,912
総事業費(A+B)		千円	10,429	9,947	9,741	10,002

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・畜犬登録及び狂犬病注射の啓発 ・犬の飼い主に対する放し飼い等のマナー啓発 ・空き地の所有者に対する環境保全啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・畜犬登録等事務経費 5,784千円 ・空き地の環境保全経費 51千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼い主のマナー向上と狂犬病予防法に基づく畜犬登録、狂犬病予防注射、野犬掃とう等の事業を実施。 ・ 江別市空き地の環境保全に関する条例に基づき、空き地の雑草等の繁茂防止など、環境保全の推進を図る目的で事業を実施。 	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬については、広報活動や看板による啓発等を行うことで苦情は減少傾向にあるが、フン害などのマナーの悪い飼い主には継続した啓発及び指導を行っていく必要がある。 ・ 空き地の雑草等の草刈りについては、土地所有者に対し事前通知により依頼している。年々、草刈りの実施率は向上しているが、所有者が遠方にいることなどから、一部で処理されないケースも見受けられる。 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防法に基づく畜犬登録、予防注射、野犬掃とうの実施 ・ 江別市空き地の環境保全に関する条例に基づく空き地の雑草等の繁茂の防止
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病の発生を予防することにより、人や家畜への危害を防止する。 ・ 空き地の雑草等の草刈りを促すことにより、地域の生活環境が確保される。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の苦情については、広報活動や看板による啓発を継続して行うことで、放し飼いが前年より減ったことにより、巡回指導件数も減少し成果があがっているが、マナーの悪い飼い主には継続した指導を行っていく必要がある。 ・ 空き地の雑草等の草刈りについては、土地所有者に対し事前通知により草刈を依頼している。草刈り実施率は昨年より向上しているが、所有者が遠方にいることから、空き地に対する環境保全についての稀薄さから処理されないケースがある。空き地の草刈りに対する苦情については前年より減少した。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報などで今後も周知し、犬の飼い方についてのマナーの向上を図る。 ・ 空き地等の所有者に指導、勧告、電話等で催告することで地域の生活環境が確保される。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由根拠 <ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の飼い方の指導、啓発を継続的に実施する必要がある。 ・ 空き地の所有者への環境保全を周知徹底する必要がある。